

市政のここが聴きたい！

# 一般質問

7議員が登壇

傍聴者延べ87名

一般質問とは、議員が市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来の方針などを質問し、説明を求めるものです。

※一般質問の様子もホームページで録画配信中ですのでご覧ください。

**問** 高齢化率と介護保険料基準額の県内の水準は。

**答** 高齢化率は31%。県平均の25.5%を上回り、近隣市では一番高く県内63市町村の中で高い方から17番目に位置している。介護保険料基準額は月額で4千700円、国平均月額5千889円、県平均月額5千589円を下回っており、全国1千571保険者中、基準額の低い順で90番目、県内61保険者中15番目に位置している。

**問** 健康マイレージ事業と合わせて高齢者ボランティアポイント制度を進めることへの見解は。

**答** 県内では20あまりの市町において、ボランティアポイント制度が実施されている。近隣市町村等の状況を把握しながら、制度の実施について研究を行っていく。

**問** ボランティアポイント制度導入に支障となるものは。

**答** ボランティアの内容も福祉、環境、防犯や交通安全に関することなど様々であり、これをポイントとして公平に反映できるところかなどは導入にあたっての課題になる。

**問** 児童虐待防止について過去5年間の児童虐待の相談件数の推移と内容は。

**答** 平成25年度は37件、平成26年度は30件、平成27年度は34件、平成28年度は42件、平成29年度は55件と年々増加している。内容は、身体的虐待が22件、育児放棄・怠慢が20件、心理的虐待は13件である。

**問** 継続的な支援や虐待のおそれのある子どもの家庭が転居等により当市を離れた時の他行政との連携は。

**答** 文書で家族状況、概要、虐待リスクなどの情報を提供し継続的な支援を依頼。状況によっては転出先市区町村に同行し、担当者に直接引き継いでいる。

**問** 胃がん対策としてのロリ菌検査について

**答** 現在、胃がん検診は集団による検診を実施している。同時に実施するには、個別検診ができるようにすることが必要。今後は、実施方法を研究していく。

**問** 特定健診と同時に申し込みができるようにすることへの見解は。

**答** 現在、胃がん検診は集団による検診を実施している。同時に実施するには、個別検診ができるようにすることが必要。今後は、実施方法を研究していく。

健康長寿のために楽しく体操



高齢者がいきいきと活躍できる  
まちづくりのじつじつ

池田 和子